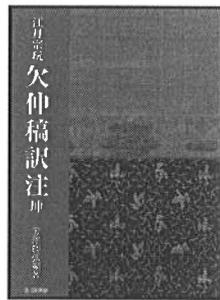


江月宗玩 欠伸稿訳注 [乾・坤]

芳澤勝弘編著

江月宗玩の語録『欠伸稿』の龍光院蔵自筆本を翻刻。分量的には、影印で刊行されている写本「孤篷庵本」のほぼ半分だが、「孤篷庵本」にはない偶頌などを収録する。そのなかには私的なものも多く、江月の人柄を示すとともに、多くの文化人と交流を記録している。文化人の消息を窺う貴重資料ともなっている。



(乾) ▶A5判・644頁／本体 9,500円(税別)
(坤) ▶A5判・774頁／本体 9,500円(税別)

ISBN978-4-7842-1462-4
ISBN978-4-7842-1515-7

※瑞泉寺史

横山住雄著

応永22年(1415)、臨濟宗妙心寺中興の祖・日峰宗舜の開創にかかる青龍山瑞泉寺(愛知県犬山市)は、濃尾平野の妙心寺教団の中心になってその発展に寄与してきた。その600年にわたる歴史を、通史編、伽藍・塔頭編、史料編の三部構成で伝える。

▶A5判・583頁／本体 20,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1487-7

※正法山六祖伝訓註

荻須純道著

妙心寺開山慧玄から授翁宗弼・無因宗因・日峰宗舜・義天玄詔・雪江宗深までの六人の伝記を列伝したもので、雪江宗深および東洋英朝の筆による。流布本の『正法山六祖伝』は寛永17年能遷の印刻によるが、改竄のない古写本を基とした『考纂』と『別考』を参照しながらこれを考定し註釈を加えた良質の史料である。

▶A5判・160頁／本体 2,800円(税別)

ISBN4-7842-0118-1

可睡齋史料集 [全5巻]

可睡齋史料集編集委員会編

静岡県袋井市在の曹洞宗専門道場、万松山可睡齋は、全国に四ヶ寺あった曹洞宗の触頭「僧録」の一つで、駿河・遠江・三河・伊豆四ヶ国にある曹洞宗寺院を支配した。そのため、江戸幕府の曹洞宗に対する宗教行政・寺院支配に関する膨大な文書・記録類を残している。各巻に収録史料の解説を付す。

▶A5判・平均340頁／揃本体 77,000円(税別) 分売可

新纂校訂 木菴全集 [全8巻]

平久保章編

伽藍の整備と禅僧としての学徳で黄檗宗禅基を確立した第二世木菴禪師の語録8種(木菴禪師語録・木菴禪師東來語録・東來集・黄檗木菴禪師語録・木菴和尚瑞聖寺語録・黄檗木菴語録など)のほか平譜・寿章などを加えて原本を収録。頭注に付し最終巻には冠首索引・准冠首索引・総索引を付載。

▶A5判・総4,100頁／本体 145,000円(税別)

ISBN4-7842-0738-4

相国寺蔵 西笑和尚文案 自慶長二年至慶長十二年

伊藤真昭・上田純一・原田正俊・秋宗康子編

豊臣秀吉・徳川家康のブレーンとして、寺社政策・外交政策に辣腕を発揮した相国寺中興の祖・西笑承兌の発給した書状の文案をまとめた『西笑和尚文案』全10冊を、紙背文書も含め初めて活字化。さらに、『鹿苑日録』の原本の一部『文禄中日記』と、西笑承兌が活躍した時期の「相国寺本坊文書」をあわせて翻刻。

▶A5判・396頁／本体 7,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1343-6

室町期東国社会と寺社造営

小森正明著

思文閣史学叢書

寺社の造営事業は、寺社を中心とする経済活動—寺社領経済—の発展に大きな効果をもたらした。本書は、鎌倉府体制下にあった室町期の東国社会に、寺社造営事業と寺社領経済が与えた影響を考察する。「香取文書」など中世東国の「売券」の長年にわたる分析に基づく成果。

▶A5判・356頁／本体 7,000円(税別)

ISBN978-4-7842-1421-1

※妙心寺派語録(一) 瑞泉寺史別巻

玉村竹二監修／瑞泉寺史編纂委員会編

瑞泉寺史編纂に際し、中世に属する妙心寺派の語録を刊行。中世禅僧の詳細な行状を通して新たな史実解明をもたらす貴重史料。本巻には、いわゆる四派以前を収録し、解説を付す。【収録】日峰宗舜大徳寺入寺法語／義天集／雲谷集／桃隠集／仏日真照禪師雪江和尚語録／本如実性禪師景川和尚語録／虎穴録／西源持芳和尚語録／少林無孔笛 他

▶A5判・576頁／本体 13,000円(税別)

ISBN4-7842-0134-3

※妙心寺派語録(二) 瑞泉寺史別巻

玉村竹二監修／瑞泉寺史編纂委員会編

本巻には景川派と聖澤派の語録を収録し、解説を付す。【収録】梅花集(上・下)／以安和尚語録／大撤法源禪師天猷和尚語録／関梅龍寺世代之伝記／明叔和尚語録／明叔録／明叔慶俊等僧語録雑録／仁谷宗映法語

▶A5判・590頁／本体 15,000円(税別)

ISBN4-7842-0480-6

関山慧玄と初期妙心寺

加藤正俊著

世縁の粘着を嫌い隠逸の生涯を送った妙心寺の開山・関山慧玄は、自らの意志で伝記の手掛かりとなるものは遺さなかった。後世の関山伝や印可状などの諸史料を精密に分析し、初期妙心寺における関山を中心とした諸問題にとりくみ、宗門の密室性に分け入った一書。

▶A5判・390頁／本体 6,500円(税別)

ISBN4-7842-1281-7

※禅宗史の散策

荻須純道著

長年禅宗史の研究に携わった著者が、日本の精神文化を培ってきた禅の源流とその展開を明らかにする。第一篇は研究論文を主とし、聖徳太子・栄西・癡兀大慧・夢窓国師・雪江宗深・白隠・道海などをとりあげ、また中国の禅にも触れながら、禅宗史の問題を論じる。第二篇では啓蒙的なものを中心に、中国の部6篇、日本の部13篇を収めた。

▶A5判・570頁／本体 13,000円(税別)

ISBN4-7842-0122-X

曹洞宗の地域展開

鈴木泰山著

中部地方(特に東海地域)における曹洞宗の教理教学の展開と教線の拡張強化の過程を語録・民俗史料を通して明かし、一見反世間的ともみえる「道元禅」がその真髄を保持しながら「曹洞土民禅」といわれるまでに民衆化し伝承されてきたことを実証する。【解説】広瀬良弘

▶A5判・380頁／本体 8,000円(税別)

ISBN4-7842-0792-9

新纂校訂 即非全集 [全4巻]

平久保章編

木菴とともに万福寺の首座となった明僧の即非如一は隠元の徳、木菴の道、即非の禅とたたえられた高僧。本全集には語録・詩偈集を収めた『即非禅師全録』ほか二点を影印で刊行。異本との校訂は頭注で示し、詳細な索引を併載。

▶A5判・総1,632頁／本体 67,000円(税別)

ISBN4-7842-0810-0

※中国近世における国家と禅宗

西尾賢隆著

中国における仏教の姿を正しく把握すべく、4回にわたる廃仏のなかでも最大の「会昌の廃仏」を円仁の『入唐求法巡礼行記』等に見るほか、異国の宗教を理解・受容するために編まれた「偽経・語録」、「僧制・清規」へと発展する戒律の受容などを検証した著者三十余年間の研究成果。

▶A5判・388頁／本体 7,500円(税別)

ISBN4-7842-1289-2

社寺造営の政治史

山本信吉・東四柳史明編

神社史料研究会叢書 II

神社の造営は律令国家の確立とともに始まり、神祇信仰が高まる中で、国家・公家・武家・僧侶および地域民衆の支援をうけて行われ、その事業を通じて伝統文化の継承がなされた。本書は古代から近世にいたる社寺造営が持つ政治・経済的側面に焦点をあて、一級史料を駆使して、その歴史的意義と実態を明らかにした研究論集。

▶A5判・312頁／本体 6,500円(税別)

ISBN4-7842-1051-2

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年4回無料でお送りしています。

電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。